

養生(ヨウジョウ) 生命を養うの意で、健康に心がけること。

養殖(ヨウシヨク) 魚・貝などを人工的に育てふやすこと。

夭折(ヨウセツ) 夭は首の曲がった人の象形で、首の定まらない幼児を言う。幼くして死ぬこと。若死に。

要諦(ヨウテイ) 諦は仏教の悟りのこと、物事の最もたいせつな点を言う。ヨウタイが正しい読み方。

揺籃(ヨウラン) ゆりかご。

余蘊(ヨウン) 蘊は蓄。余分の蓄えの意だが、余り、残りの意に用いられる。 例 余蘊なく研究する

沃野(ヨクヤ) 沃は水をかける。地味の肥沃な平野の意。

抑揚(ヨクヨウ) 抑はおさえる、揚は引き伸ばす。声(または文章)に変化をつけることを言う。

予餞会(ヨセンカイ) 前もって はなむけ 餞する会の意で、卒業前に行なう送別会などを言う。

磊落(ライラク) 磊は大きな石の積み重なっていること。心が大きくて、小事にこだわらぬことを言う。

烙印(ラクイン) 焼き印。刑罰として罪人の額に付けたことから、ぬぐいきれない汚名を受けることに言う。

落胤(ラクイン) 落としたね。身分の高い男が正妻でない女に生ませた子を言う。

落魄(ラクハク) 魄は死者の たましい 魂(天上に昇るのを魂、地上に残るのを魄と言う)の意から落ちぶれる意に用いられる。身分や生活の落ちぶれること。

螺旋(ラセン) 巻貝(螺)のようにぐるぐるまわっていること。また、ねじのこと。

落款(ラツカン) 書画に筆者が署名し、また雅号の印を押すこと。またその署名や印。款は心の中を表示する意。器物に刻む銘を カンシキ 款識と言う。